

TOHATSU

PARTNER

2011年1月5日発行/新年号

VOL. 83



PHOTO:台東区浅草にて

C O N T E N T S

- | | | | |
|------------------------------|------|------------------------------|-----|
| ●年頭ご挨拶 | P2 | ●今日も全国を駆け巡る損害保険号 | P6 |
| ●稲垣/青山の両氏が消防庁長官表彰を受賞 | P3 | ●岐阜県不破消防組合が駒ヶ根工場を見学 | P6 |
| ●消防庁事業による消防団救急資機材車納入 | P3 | ●板橋区の自衛消防操法大会でトーハツ優勝 | P6 |
| ●北京防災展 | P3 | ●トーハツポンプ中央会がセールス研修会 | P7 |
| ●危機管理産業展 | P3 | ●トーハツポンプ中央会秋季総会 | P7 |
| ●全国消防操法大会開く | P4~5 | ●北海道トーハツポンプ会が駒ヶ根工場見学会 | P7 |
| ●岡山県和気町消防団へPROⅡ納入 | P4~5 | ●トーハツパイロット店北海道ブロックで講習会 | P7 |
| ●横浜フローティングボートショー | P4~5 | ●東京消防庁へ可搬ポンプ45台納入 | 裏表紙 |
| ●関西フローティングボートショー | P4~5 | ●熊本県山鹿市へ可搬ポンプ20台納入 | 裏表紙 |
| ●東京湾でメーカー対抗ボートシーバス釣り大会 | P4~5 | | |



トーハツ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>



年頭ご挨拶

トーハツ株式会社

代表取締役社長 金子 満

平成23年の輝かしい新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

日頃ご支援を頂いております多くの皆様のおかげで希望に満ちた新春を迎えることができました。改めて感謝を申し上げますと共に、新しい年が今までにない飛躍の年となることを皆様とご一緒に祈念したいと存じます。

年頭にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、経済、国際問題、環境すべての面で未曾有の変化が生じた年であったと言っても過言ではないと思います。米国の景気基盤回復に原因があるとする円高が、最終的には各国の自国通貨安競争にもつながるような状況の中で、新しい年を迎えることになりました。昨年から今年の年初かけて米国経済が二番底を回避するという見方が強まれば、徐々に円安傾向に振れていくということも報じられておりますが、円高懸念はいまだに払拭されてはおりません。

国際問題を振り返りますと、先進国と発展途上国間の資源をめぐる利権問題、環太平洋パートナーシップ協定に見られる貿易不均衡の是正、領土問題と多様な国際問題が報じられた年でした。生活に直接影響するところでは、春の日照不足による野菜の高騰。そして集中豪雨による土砂災害。日本各地を襲った記録的な猛暑。これによる熱中症という言葉も記憶に新しいところです。

さて、未曾有の変化が続く中で迎えた新しい年、私ども製造メーカーを取り巻く環境もこれまでにない速さで変化しております。この変化に乗り遅れないためには、製造メーカーとして多様化しております顧客ニーズを正しくつかみ、このニーズが販売部門、サービス部門、開発設計部門、製造部門間において、ぶれることなく貫かれ、アウトプットとしての商品に触れた顧客が満足を得ることができる。いわば顧客のニーズと顧客の満足の架け橋役として考えることが、企業の飛躍的発展のかぎになるのではないかと思います。

トーハツ株式会社は、平成19年に会社設立75周年を迎えました。この時に私は75周年を創業の原点として位置づけ、時代の変化に柔軟に対応できる企業体質作りを誓いましたが、おかげ様でこれを実現できつつあり、この流れは更に進化が続いております。

新しい年を迎え、皆様のお力を頂きながらこの流れをとぎすことなく社員一丸となって会社設立80周年に向けて邁進してまいります。本年も倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとりまして良い年となりますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



トーハツ 稲垣 諭 / 青山 滋 の両氏が 消防庁長官表彰を受賞

消防機器及び同設備関係などの発展に寄与された人々を称える平成22年度の消防庁長官表彰が、去る11月4日、東京・信濃町にある明治記念館で行われました。

この荣誉ある表彰を受賞されたのは、消防関係者業界功労者表彰では、弊社技術部設計2課長 稲垣 諭氏が受賞。また、全国消防機器協会会長表彰では、防災営業部部长 青山 滋氏が受賞いたしました。

稲垣、青山の両氏は、消防庁長官から授与された表彰状を手に、緊張した面持ちでカメラのフラッシュを浴びていました。

この日の式典は、消防・防災関連団体や省庁関係者などが多数出席され、盛大且つ厳肅なムードの中で進行。表彰の意義と重みを実感させるものでした。式典後、受賞者をはじめ消防関係者などが長官と共に和やかに記念撮影。また、この後行われた第2部懇親会には、片山参議院議員の祝辞などもあって、受賞者にとって大変晴れがましい一日でした。稲垣、青山のご両名様、この度の受賞誠にありがとうございます。（防災営業部/志津川）



22年度 消防設備関係功労者等 表彰祝賀会



「消防団救助資機材搭載型車両」 北海道・東北区分 52台 無事納入完了!



総務省消防庁事業による「消防団救助資機材搭載型車両」の北海道・東北区分52台を、この程納入を無事に完了。各市町村に配備されました。

この「消防団救助資機材搭載型車両」の北海道・東北区分配備は、総務省消防庁より緊急地域安全対策事業の一環として防災安全の推進と消防団の強化充実を目的に、平成21年度補正予算による所定の市町村へ貸与する形態で実施されたものです。

この度納入された同資機材には、環境に優しいトーハツ可搬消防ポンプ「VF63AS」も搭載され、その抜群の操作性に各市町村の消防関係者も大満足のご様子でした。

今後の消防団の益々のご活躍を期待するとともにこの度の納入に際しましては、各地区の特約販売店様のご協力により無事終了できましたこと、改めて誌上より厚く御礼申し上げます。（防災東北/中島）



北京防災展

トーハツポンプ推し参る…宮川



10月13日～15日、中国・北京においてCHINA FIRE 2010がおこなわれ、トーハツ販売店であるHOWSWING社とともにポンプの展示・商談に臨みました。

一昨年に続き連続開催となった今回、不景気は何処吹く風の盛況ぶりで、恒例となった梯子車のデモンストレーションも圧巻です。過去最大のブース面積を擁した我々も、日本の可搬ポンプメーカーとして唯一の中国国家検定の名に恥じない堂々とした構え。

何やらあつという間に時は過ぎ、次々と解体されて行くブースとその手際にも中国式の力強さと粗雑さが入り混じり活目。厳しい経済情勢にあっても中国市場の潜在的規模や人々の生き活きとした姿を垣間見る瞬間、期末へ向け改めて決意を新たにしました次第です。

（防災営業部海外課/宮川）



10月6日～8日
3日間

消防・防災から新型インフルエンザ対策まで… 危機管理産業展開く in 有明ビッグサイト

秋恒例の危機管理産業展が、去る10月6日～8日までの3日間、東京ビッグサイトで開かれました。この展示会は、消防・防災などに限定したのではなく、新型インフルエンザ対策、地震などの災害対策から防犯分野まで、あらゆる最先端の危機管理対策を網羅した催しです。



トーハツでは、通常の消防・防災展とは異なるため、消防ポンプ他様々な救急・救助資機材を展示しました。とりわけ消防ポンプは、自治会や自主防災組織などに最適なコンパクトで取扱い易い「V10F1-D」の台車セットを展示。また救急・救助資機材では、全国各地の消防署でご採用頂いているハンズフリー形

熱画像直視装置、多種類のストレッチャーやバイタル測定機器セット、エンゲルポータブル冷蔵庫等々、最新の取扱商品を多数展示しました。

3日間の入場者数は24,554人で、一昨年より若干減少したものの日本経済の状況を考えれば、危機管理に対する関心の高さがうかがえます。トーハツブースには消防関係者のみならず、民間企業から自主防災組織の関係者まで、幅広いお客様にご来場頂きました。また全国のトーハツ販売店様もお立ち寄り頂き、最新の資機材について早速デモの要望を頂くシーンなどもあり、大変有意義な展示会でした。

トーハツブースに来場下さった多くのユーザー、並びに販売店の皆様には改めて厚くお礼申し上げます。（防災営業部）





秋晴れの空の下

第22回 全国

兵庫県・福崎町消防団に

栄冠

優しい4ストロークエンジンポンプ「VF53AS」を出展したトーハツ・ブースは、終日消

防関係者などで混み合い盛況をきわめました。

さて成績結果は別表の通りですが、使用ポンプ関係では前大会と同様「VC72PRO II」が連続優勝。3位は「VF63AS」。同モデルは全国大会初出場でしたが、充分期待に応えてくれました。

兵庫県福崎町消防団の皆様、優勝おめでとうございます。またトーハツポンプで出場された各消防団チームの皆様には、誌上から厚くお礼申し上げます。

(防災課/手島)



第22回目を迎えた全国消防操法大会が、去る11月12日、爽やかな晴天の中、愛知県蒲郡市内で開かれ、地方予選を勝ち抜いてきた各県消防団の精鋭たちが躍動感溢れるポンプ操法を披露しました。

ところで全国消防操法大会とは、また「操法」とはどのようなものなのでしょうか？ そもそも「操法」とは、消防団員5人で構成され、ポンプとホースを接続し、放水により10m先の的(直径75cm/高さ2m)を射落とす正確さとタイムを競う競技です。もちろん競技開始の初動動作からエンジン始動、的を射落とすまでのタイムと規律の正確さなどの総合得点で競われます。また全国消防操法大会とは、各都道府県別の予選を勝ち抜いてきた消防団が、県代表として出場し覇権を競う、いわば高校野球の夏の甲子園大会とも言えるものです。

今大会の小型ポンプの部には精鋭23チームの代表が出演。応援席に陣取ったわがトーハツ防災営業部員一同は、手に汗を握りながらの声を展開しました。

一方競技の方では、競技開始と同時にトップを切って出場した岡山県の和気町消防団チームが、一番手のプレッシャーにも負けず89点(41.8秒)の高得点をマーク。首位の座をがっちり堅持して午前の部を折り返せば、午後の部では兵庫県の福崎消防団チームが90点(41.98秒)を獲得して逆転。その差わずか1点が、優勝と準優勝の座を分けた厳しい大会でした。

また同時開催された交流物産展では、特産品販売コーナーや消防機器展示コーナーなどが立ち並び、消防関係者、応援団員、地元市民などが訪れて大賑わい。とりわけ今大会の目玉商品「PRO II」や環境に

成績	県	消防団名	使用ポンプ
優勝	兵庫県	福崎町消防団	VC72PRO II
	岡山県	和気町消防団	VC72PRO II
準優勝	広島県	福山市消防団	VF63AS
	新潟県	新潟市消防団	VC72PRO II
	山口県	山口市消防団	他社
優良賞	宮城県	石巻市雄勝消防団	VC72PRO II
	愛知県	大口町消防団	他社
	東京都	大森消防団	VC72AS
	愛媛県	伊方町消防団	VC72PRO II
	福島県	南会津町消防団	他社

2010年 フローティングボートシ

一番シーバスが釣れるボートはどれだ!? ~ メーカー対抗ボートシーバス大会 ~

秋のシーズン真っ盛りの中、「一番シーバスが釣れるボートはどれだ!?」と題したボートメーカー各社のPR記事を兼ねた雑誌社取材があり、東京ボート(株)大場川マリーナの協力を得て、日産マリーン、ヤママー、トーハツの三社合同によるボートシーバスフィッシング大会が開催されました。

まずは各社ボートのセールスポイントをPR。トーハツは、マイナー

チェンジを計ったばかりの「マーベラス21α」に、これまたモデルチェンジしたばかりのTLDIニューエンジン「MD90C2」を搭載してチャレンジ。同艇は最大搭載馬力を90馬力まで引き上げると共にイクスの使い勝手も変更。その底力を遺憾なく発揮させるべく、準備に余念がありません。

ルールは単純にして明快。各チームが釣り上げた最大サイズで勝負です。各社やる気満々でスタート時間を迎えました。

日が暮れてからの出航で、マリーナスタッフ同乗のもと一斉にスタート。トーハツチームは、新型90馬力の出足の速さで猛然とダッシュし、ポイントへ一番のり。その後、東京湾奥の有望ポイントを探りながら次々にヒットを重ねるも、思うようにサイズが上がりません。各社、相手チームの様子を電話で確認しつつ、より大きなサイズを求めて移動を繰り返します。そうこうするうちにストップフィッシングを迎え、各チーム揃って帰港。結果は日産マリーンが87cmというランカーサイズをキャッチし、堂々の優勝。わがトーハツは惜しくも2位に終わりました。数ではぶっちぎりだったのですが…。撮影の後、各チームの健闘を称え合い、和やかなムードの中再戦を誓い合っ解散となりました。

最後になりましたが、多大なご協力を頂いた東京ボート(株)大場川マリーナの皆様に厚くお礼申し上げます。

(マリン課/石丸)



「PROII」の快音響く 消防操法大会



岡山県和気町消防団 悲願のPROIIで…

昨年の岡山県消防操法大会でみごと優勝。秋の全国大会へ駒を進めた和気町消防団では、全国制覇へ悲願のトーハツポンプ「PRO II」を緊急導入しました。これは高揚する団員の士気を背景に、トーハツ販売店/吉備商事(株)三好社長の熱心な販売活動と複数のデモが功を奏したもので、和気町より早期にご採用頂きました。

同町消防団は過去に自動車ポンプ部門で全国優勝を果たしており、この度の全国消防操法大会では可搬ポンプ部門の制覇を念頭に緊張感を持って練習。例えば大会当日には会場のアスファルトの状態や風向きなどにも気を配り、また出場順位が一番目に決まった時には競技のスケジュールやポンプの調整方法等についても何度も確認されるなど、緊張感の高まりにもかかわらず冷静な対応をみせていました。当初の練習では、とりわけタイムの短縮に重点が置かれていたようですが、練習の最終段階では基本規律を何度も確認し合うなど普段の練習風景へと変化。自信の程がうかがえました。

ちなみに去る11月12日、愛知県下で行われた全国大会では、「PRO II」を擁して出場した同町消防団チームはトップの座で前半を終了。後半、惜しくも兵庫県代表に逆転を許したものの見事な準優勝でした。和気町消防団の皆さん、おめでとうございます。

なおこの度、販売とアフターフォローにご尽力頂いた吉備商事(株)様には厚くお礼申し上げます。

(防災関西/田村)



ヨ一開く

横浜

NEW

“MARVELOUS 21α” 登場!

関東マリン事業協会主催による「2010横浜フローティングボートショー」が、去る10月16日・17日の両日、アウトレットと併設の横浜ベイサイドマリーナで開催されました。会場には国産ボートをはじめ、輸入艇、中古艇など31隻が展示され、ボートファンからフィッシング・ファンまで、前回は上回る来場者で賑わいました。

トーハツでは、今秋登場の新型エンジンMD90C2を搭載したマイナーチェンジ艇「MARVELOUS 21α」を出展。訪れたフィッシング・ファンの注目を集めると共に評価も上々。クリーン&エコノミー性能を両立したエンジンのセットと相まって、今後は更に話題を呼びそうな勢いでした。

(マリン関東/飯島)



NEW

「MD90C2」

ユーザーを魅了

関西

関西フローティングボートショー実行委員会主催による関西フローティングボートショーが、去る10月1日~3日まで、残暑の余韻とも言える暑さの中、新西宮ヨットハーバーで開催されました。

今回トーハツが出展したのはマーベラス21α。今秋新発売で、男のロマンを詰め込んだクリーン&エコノミーを果たした「MD90C2」エンジンをパワートレインとして搭載。スタッフの意気込みが伝わったのか、多くの販売店やユーザーがトーハツ・ブースに足を運んでくれました。

この劇的モデルチェンジを果たしたMD90C2の静寂性と安定性は、説明しないと4サイクルと勘違いされるほど。しかし従来の2サイクルから受け継がれた軽快なレスポンスは、当モデルで更に磨きがかかり多くのユーザーを魅了しました。

最終日には雨に見舞われたものの、3日間で延べ約4,000名の入場者数を記録。試乗を行った販売店から、後日さっそく注文を頂くなど大いに収穫あるイベントでした。ご協力頂いた販売店の皆様に厚く御礼申し上げます。

(マリン関西/福松)



防火・防災に多大な貢献! 今日も全国を駆け巡る 「損害保険号」

毎年「損害保険号」など
消防機器の寄贈を通じ国内
の防火・防災に貢献している
(社)日本損害保険協会から、
昨年も全国向け20台(デッ
キバンタイプ)、離島向け8台(トラックタイプ)が寄贈されました。



(社)日本損害保険協会がこの事業を始めてから既に58年の長きに
わたり実施されていますが、実はそれ以前から「保険」と「消防」には深
い関わりがありました。損害保険会社が火災保険の取扱いを始めた当
時は、現在のような公設消防がありませんでした。このため火災が発
生すると損害保険会社は自ら消防隊を急行させ、消火に勤めたと言わ
れています。

今回寄贈された全28台は、恒例により「損害保険号」と命名され、
北は北海道から西は沖縄までの所定地域に配備されました。配備に当
たっては日本損害保険協会やトーハツ立会いの下に寄贈式を実施。各



地域でPRIに務める
ことで防災の大切
さを全国にアピー
ルし、成果を上げ
ています。

今日も全国を駆け
巡る「損害保険
号」。大きな期待が
寄せられています。
(防災課/手島)

ポンプ製造工程に興味津々 岐阜県不破消防組合が 駒ヶ根工場を見学



岐阜県下の不破消防組合様ご一行17名が、去る10月25日、見
学のためトーハツ駒ヶ根工場に訪訪されました。

ご一行は工場関係者に出迎えられ、工場の概要説明を受けた後、
係員の案内で早速消防ポンプの製造現場を見学。順路に従って組
立てライン、運転試験場など、日頃なじみの深いポンプの製造工程
に興味津々の態で観察しました。ご一行がとりわけ驚かれたのが運
転試験場における4ストロークポンプのエンジン音の静粛さで、こ
のエンジン音に関する様々な質問が後を絶ちませんでした。

その後ご一行は、出荷待ちの海外向けポンプなどを見学。そして
消防検定待ちのポンプを前に全員揃って記念撮影、全日程を終了し
ました。これを機会にトーハツポンプへの信頼を更に深めていただ
ければ幸いです。不破消防組合の皆様、大変お疲れ様でした。

(防災中央/福田)

東京・板橋区の自衛消防操法大会 トーハツチーム 貫禄の優勝!



東京都板橋区消防署主催による平成22年度消防操法大会が、去る9
月17日、板橋区の東京都下水道局新河岸水再生センターで開催され、同
区内の民間企業などから沢山の自衛消防チームが参加。大きな盛り上
がりを見せました。各チームの熱意が天に通じたのか絶好の大会日和。好
プレー続出に応援席は沸きかえりました。

わがトーハツ自衛消防隊は、今回、経験豊富な4番員の田中隊員に代
わって新たに内山隊員が加わり、しかも同隊員は大会初出場とあって他の
隊員もやや緊張がみられました。しかし、いざ本番を迎えると普段の練習
時と変わらぬ軽快な動きを見せ、プレーは無事終了。結果は手引き動力
ポンプの部で見事優勝の金星。ポンプメーカーの名に恥じない素晴らしい
結果を残してくれました。おめでとうございます。

選手の皆さん、関係者の皆さん、お疲れ様でした。

(総務部/佐藤)



トーハツポンプ中央会主催による「平成22年度トーハツポンプセールス研修会」が、去る9月13日・14日の両日、厳しい残暑の中トーハツ本社で開講されました。開講に先立ち、この度は内容よりも充実度を優先させ、参加した皆さんにより多くの知識を吸収して頂くため、名称を「講習会」ではなく「研修会」として実施。

開会にあたりポンプ中央会・藤松会長より激励のご挨拶などを頂いて研修会はスタート。参加者32名の皆さんには、あらかじめ「ポンプの基礎知識/分解・組立て/トラブルシューティング/メンテナンス・性能比較」の4項目の中から2項目を選択の上受講して頂きました。

9月中旬とは言え今夏の猛暑続きの延長で、屋外研修時には溢れる汗を拭いながらの受講風景も見られましたが、活発な質問が飛び交い、充実度抜群の研修会でした。また初日の夜には懇親会も催され、情報交換や親交を深めるよい機会となりました。

そして、いよいよ最終日。金子社長から参加者全員に「終了証」が授与さ

れ、喜びの中で2日間にわたる研修会が閉会しました。暑い中ご参加頂きありがとうございました。次回も多数のご参加を期待しております。

(防災中央/小鷹)



トーハツポンプ中央会がセールス研修会 受講者には金子社長より終了証授与

トーハツポンプ中央会 秋季総会

トーハツポンプ中央会秋季総会が、去る11月17日、有楽町にある東京国際フォーラム内で開かれました。

同会・藤松会長による開会挨拶の後、事務局から平成22年度事



業報告、並びに平成23年度事業計画案に伴う来期事業計画の取り決め、研修会の内容などが報告され、第1部が終了。

次の第2部では、藤松会長、並びにトーハツ(株)金子社長の挨拶の後、トーハツ(株)小山営業本部長から業界の近況や販売状況などが報告されました。その中で、いま話題のグループホーム向け「特定施設水道連結型スプリンクラー加圧送水装置」についての説明などがあり、活発な意見交換が行われました。

総会終了の後は、恒例の懇親会へ。親交を暖めあう和やかムード色の秋季総会でした。

(防災中央/高橋)

北海道トーハツポンプ会 総会を兼ねて 駒ヶ根工場見学

北海道トーハツポンプ会では、会員の希望を叶えるべく、去る10月20日～22日、第19回総会を兼ねた2泊3日のトーハツ駒ヶ根工場見学会を開催しました。

会員ご一行の到着を羽田空港で出迎えたトーハツ金子社長他関係者は、ご一行と共にそのまま一路駒ヶ根温泉の「山野草乃宿二人静」へ。温泉で旅の疲れを癒した後は早速懇親会へ。和やかな歓談や情報交換で大いに親交を深めていました。

翌日、トーハツ駒ヶ根工場内の施設で開かれた総会は、同ポンプ会・八木会長の挨拶の後、予定された議案も審議を尽くして無事終了。次の工場見学へ移りました。工場内では、ポンプの製造工程などをじっくり観察。

日ごろ何気なく扱っている商品としての消防ポンプが、たくさんの人の手と工程を経て誕生する瞬間は、ととても感動的でした。

さて、かなり切り詰めた日程が続くご一行は、工場見学の後は飯田市にある「元善光寺」、そして諏訪市にある「諏訪大社」に参拝。

次は河口湖のほとりにある「湖山亭うぶや」へ。晴れていれば富士山が一望できる筈でしたが、あいにくの雨模様。非常に残念でしたが、全員長旅の疲れも見せず、元気で帰路につきました。同ポンプ会会員の皆様、大変お疲れ様でした。

(防災北海道/小鷹)



トーハツ船外機 パイロット店 北海道ブロックで技術講習会



トーハツ船外機のサービスパイロット店を対象とした北海道ブロックの技術講習会が、去る12月2日・3日の両日開かれました。今回はEFIエンジンに特化した内容が主で、フェルインジェクターの構造、粗悪なガソリンを使用した際インジェクターに与える因果関係、更に不良動作の確認手順等を実際に特殊装置で検証するなど、必須の技術とあって、参加者はきわめて高い関心を示していました。質疑応答も頻繁に行われ、真剣な受講振りが伝わってきました。この講習会では、フェルフィルターを持つ重要性や取り付けの徹底化を再確認した次第です。

お楽しみ夜の懇親会では、居酒屋の水槽で釣ったイカをすぐさま捌いてくれる「活イカ刺し」料理で舌鼓。大いに親交を深めました。

ご参加頂いたパイロット店、並びにスタッフの皆様、大変お疲れ様でした。

(マリン北海道/山中)



東京消防庁へ VF63AS 可搬ポンプなど 45台納入

東京消防庁による都内消防団向け可搬消防ポンプ納入に伴う完成検査が、去る10月8日、トーハツ本社で行われました。この度の納入は3年前と同様「VF63AS+台車セット」45台の大量納入。検査日の前日まで、ポンプの整備や台車の組立て、消防機材などの準備に追われ、ようやくこの日を迎えることができました。全45セットが旧東京工場を埋め尽くさんばかりに並んだ様子は、正に壮観。



圧倒される程の風景です。

この日、同消防庁から来社された3名の検査官は、販売店の東京物産(株)の係員と共に仕様書との整合性や員数検査などを精査。結果は全て合格でした。納入されたポンプと台車セットは、今後東京23区内の所定の消防団に配備される予定です。

VF63ASをご採用頂きました東京消防庁様、並びに納入にご尽力頂いた東京物産(株)様には厚くお礼申し上げます。

(防災中央/小鷹)



山鹿灯籠祭りで知られる 熊本県山鹿市へ

VC72PROIIポンプ 20台納入

熊本県山鹿市へ、去る10月31日、トーハツポンプ「VC72PROII」20台が納入され、同日、同市の消防本部で関係者多数出席の下、納入式が行われました。

納入に伴う取扱い説明会は、同市消防団員が7班に分かれて実施され、説明の後ポンプの操作・機能などについて様々な質問や意見がだされました。その熱意には販売店の係員も圧倒される程で、防災意識の高さが窺えました。

同市は温泉も豊富ですが、とりわけ山鹿灯籠祭りは全国的に知られています。今後の更なるご発展を祈念申し上げます。

この度の納入にご尽力頂いた三輝物産(株)様には誌上より厚くお礼申し上げます。

(防災九州/田中)



発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 日向 勇美/青山 滋